

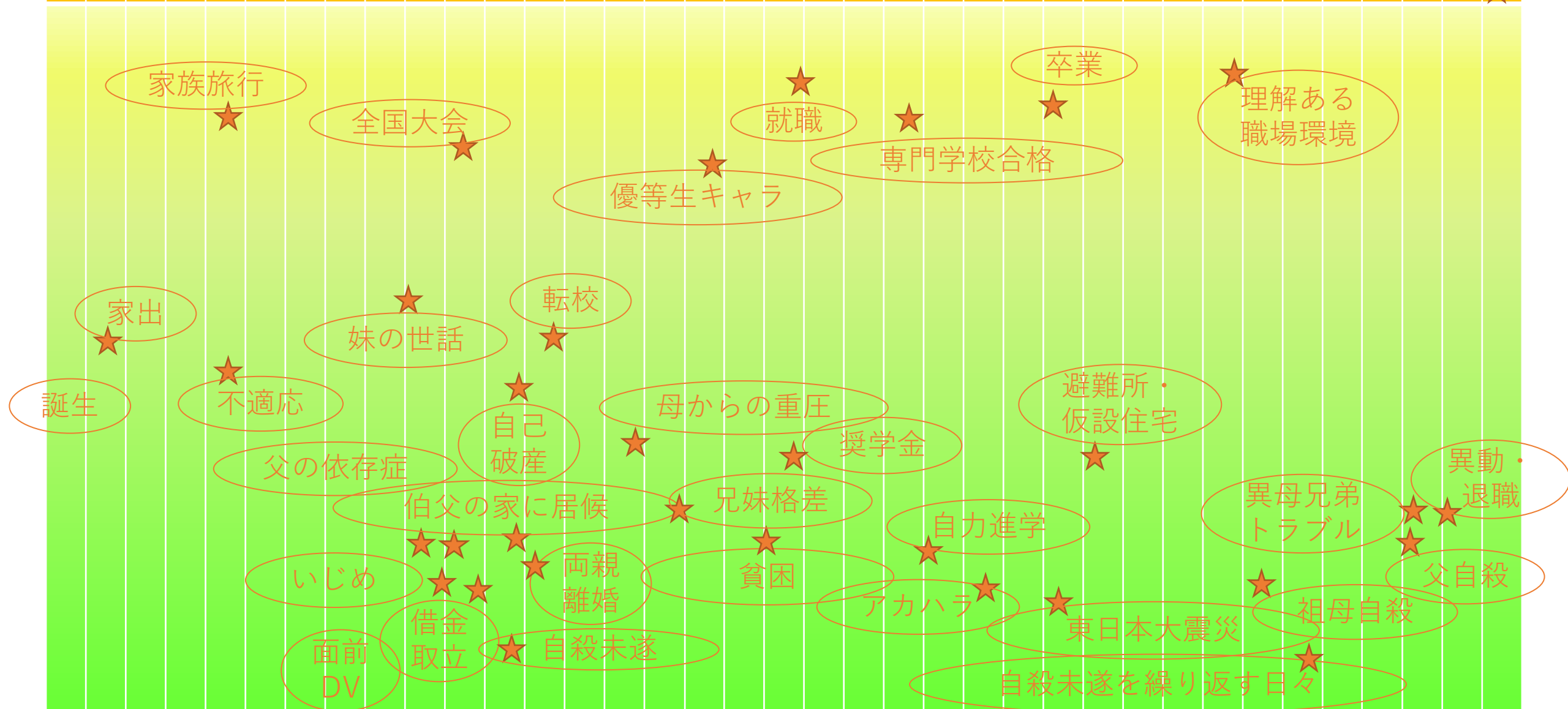
ちかのライフストーリー

2022ver



『わたし』が出来上がるまで

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 ★



幼少期～学童期(洗脳期)

- ・父、母、兄と妹と共に福島県いわき市で暮らす
- ・父はアルコール依存症、隻腕、会社経営
- ・会社経営が傾くと、借金、DV、自己破産、離婚
- ・学校ではいじめにあい、勇気を出して担任に相談するも…

- ・周囲の評価

【おとなしくて何を考えているかわからない】

- ・影響を与えたことば

『このクラスにいじめなんかないよ』

『おまえはお母さんといっしょでダメだ』



幼少期～学童期(洗脳期)

『だれも助けしてくれない』

『だれもわかってくれない』を
習得した



中高時代(貧困・過剰適応期)

経済格差、地域格差、情報格差、さまざまな底辺へ・・・

母親がプレッシャーから村一の『厳しすぎる親』へ・・・

母親が厳しすぎて、勉強する

&誰も守ってない校則・制服も遵守

・周囲の評価

【真面目な優等生】

・影響を与えたことば

『なんで100点じゃないの』

『お母さん大変だね、お母さんすごいね』

中高時代(貧困・過剰適応期)

『真面目こそ正義』の呪文を手にした



社会人デビュー(キラキラ青春期)

- 卒業した高校にそのまま臨時職員として採用される
- 生徒と一緒に文化祭や体育祭などなどを思いっきり楽しむ！
- いろんな生徒の相談も受けるようになる

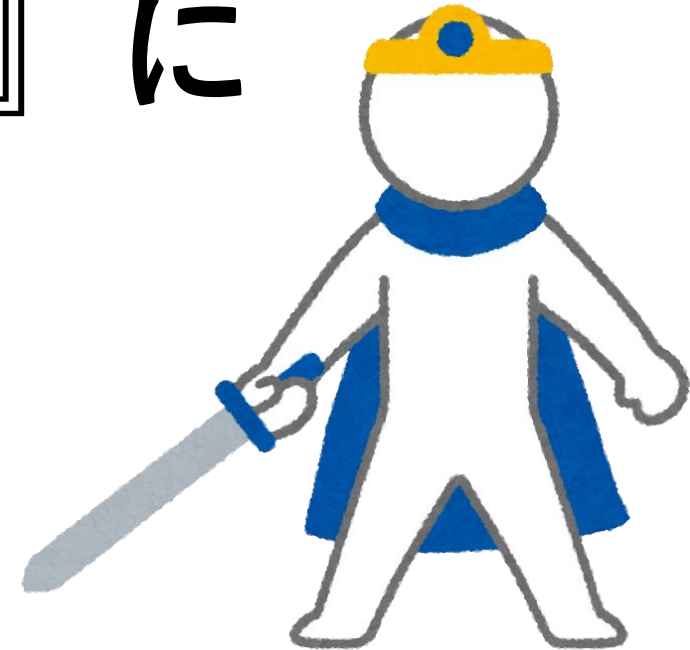
- 看護学校をめざすことに！！→先生たちが勉強を見てくれる

- 周囲の評価
【生徒と近い“お姉さん”的存在】

- 影響を与えたことば
『看護師としてそれから自分のやりたいことやったらいい』

社会人デビュー(キラキラ青春期)

誰かの役に立てる喜びを知り
『必要とされる自分』に
なることを誓う




専門学校時代(挫折・暗黒期)

- バイト掛け持ちし、奨学金を2つ借りて生活費と学費のやりくりをする
(3年間で貯めた100万円で受験・引っ越し)
→『やる気ない』『協調性ない』と、友達出来ず、単位も落とす…

- 周囲の評価
【やる気ない】

- 影響を与えたことば
『お金がないなら来ないでほしかった』『精神科行け』
『(言っても思ってもないことを)○○って言いそう』

2011年3月11日
卒業式を迎えるも・・・

A thought bubble with a scalloped border and three small circles leading to it from the bottom left. Inside the bubble, the text reads: 卒業したら、やっと普通に生きられる...

卒業したら、やっと普通に生きられる...

東日本大震災 発生

その後、祖母と父の自殺

専門学校時代(挫折・暗黒期)

努力は報われない
一生「普通」にはなれない



見えない呪縛との闘いへ...

分カラランジャー



本気魔女



世話好き王子



エアファイター



『境界性パーソナリティ障害』に・・・

今から死にます

入院3回
ICU・精神

警察保護
3回

きょうかいてなに??

休職3回以上

転職4回以上

「ふつう」になりたかった

完璧じゃないから生きてはいけない

『じぶん』がわかんない・・・

だれも分かってくれない・・・

私だったらこうやって関わるのに
なんでしてくれないの!!

人間関係
クラッシャー

分かってほしい

誰にも必要とされないなら
死にたい

分かってくれると思ったのに!!

頑張っても報われない

よりそい100回かけました



「よりそいホットライン」とのあい

- 東日本大震災後の避難所・仮設住宅
- これまでに単純計算で2000～3000回は話している
なのでコールの回数は……
- いろんな『相談員さん』とお話できました
なかには、何度かお話聴いてもらっている方もいます
- 「分かってくれない」ってブチ切れたり、クレーム入れたり……
- “この人、分かってくれない”って思った瞬間に「分かってほしい」
呪縛が強固に発動してしまいます(電話は切れない。。)

よりそいホットラインをとおして・・・

- 最初は震災のことが中心でしたが、何100回も話していると、だんだん、『震災のこと』自体は自分の中で消化？していきました
- 代わりにこれまで誰にも話せていなかったことなども話すようになっていきました
- 行ったり来たりしながら

- 震災が必ずしも『悪い』ことではなかったという気持ち
- 震災に限らず・・・
- 『きいてもらえる相談』の練習の場になった

『わかってくれる人』との出会い

- 学校職員時代の分校長
- よりそいホットラインのコーディネーター
- 3つめの病棟勤務の時の科長・主任
- 今一緒に仕事や活動している同僚？仲間？同士？友達？
- くもりちゃん などなどの方々

ところが・・・

『わたしを分かってくれる人は』

共通して

『わたしのことを分らない』という

最近は・・・

- 「死にたい・・・」は変わらず継続中
- 「死にたい気持ちを大切にしながら、ひとまず今日の自分を生きてもいいか、、」
- 「『普通』をめざすのはやめた」
- 「正義とは？正しいとは？新たな概念模索中」
- 「私のことは私もだれも分からない、研究中」

新たな能力の獲得中

つづく